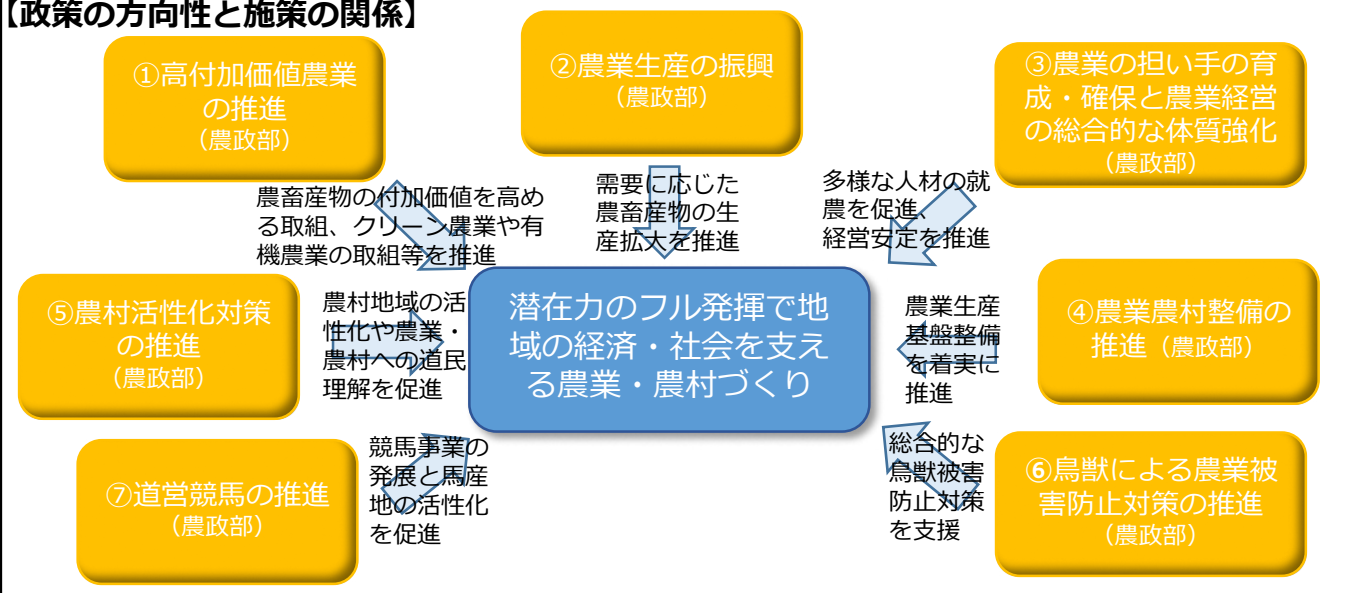


【政策の方向性と施策の関係】



施策名	課題等	主な取組 《内はコロナの影響》	総合評価
①高付加価値農業の推進 (※)	<ul style="list-style-type: none"> 6次産業化をはじめとする農畜産物の付加価値を高める取組の拡大を図る必要 環境に配慮した農業生産が求められている 	<ul style="list-style-type: none"> 北海道6次産業化ホ－ルセンターを運営 6次産業化に取り組む人材の育成、加工・販売施設の整備への支援 北海道ブランドを活かした海外へのPR クリーン農業や有機農業の推進 《プロモーション活動に係る報告会の中止等》 	効果的な取組を検討し引き続き推進
②農業生産の振興 (※)	<ul style="list-style-type: none"> 経営を取り巻く環境は厳しく、生産基盤の維持・強化が急務 安定的な食料の生産・供給を図ることが必要 	<ul style="list-style-type: none"> 生産基盤強化に向けた施設整備等の支援 スマート農業に関する情報の共有・発信、技術課題の検討・対応、人材育成 《研修、セミナーの中止等》 	効果的な取組を検討し引き続き推進
③農業の担い手の育成・確保と農業経営の総合的な体質強化	<ul style="list-style-type: none"> 農家戸数の減少や農業従事者の高齢化が進行 意欲と能力がある担い手の育成・確保、農業経営の総合的な体質強化を図ることが必要 	<ul style="list-style-type: none"> 新規就農者の確保・育成に向けた研修会や就農相談会等の実施 担い手の経営体質の強化に向けた研修環境の整備や経営所得安定対策の推進 農業法人の育成に向けた研修の開催やサポート窓口の設置・運営 	効果的な取組を検討し引き続き推進
④農業農村整備の推進	<ul style="list-style-type: none"> 安全安心で高品質な農産物の安定供給のため、生産性の向上や生産コストの低減が重要 本道農業の生産力・競争力を強化する農業生産基盤整備の計画的・効率的な推進が重要 	<ul style="list-style-type: none"> ほ場の大区画化や農地の排水対策、草地の整備や農業水利施設の保全管理など農業生産基盤の整備 整備の促進に向けた、市町村と連携した農家負担軽減対策の実施 	概ね順調に展開
⑤農村活性化対策の推進 (※)	<ul style="list-style-type: none"> 人口減少や高齢化の進行による地域の活力低下が懸念 本道農業・農村に対する道民理解の促進が重要 	<ul style="list-style-type: none"> 農業・農村の多面的機能を支えるための地域の共同活動に対し支援 都市住民への情報発信を実施 《会議、研修の中止等》 	効果的な取組を検討し引き続き推進
⑥鳥獣による農業被害防止対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> 農業被害は平成23年度をピークに漸減傾向だが、被害の発生が全道的に広がっている状況 	<ul style="list-style-type: none"> 地域協議会が主体となって取り組む総合的な鳥獣被害防止対策を支援 	効果的な取組を検討し引き続き推進
⑦道営競馬の推進	<ul style="list-style-type: none"> 競馬の基本となる競走馬の確保が大きな課題 安定的に継続した事業展開のため、発売拡大が必要 	<ul style="list-style-type: none"> 本賞金の引き上げなど報償費の見直し 重賞競争の新設、格付変更 門別競馬場施設の整備 	概ね順調に展開

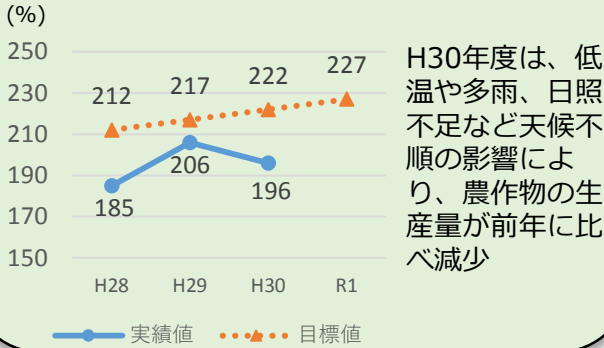
(※) はコロナの影響等があった施策

【施策の詳細については、評価調書をご覧ください】

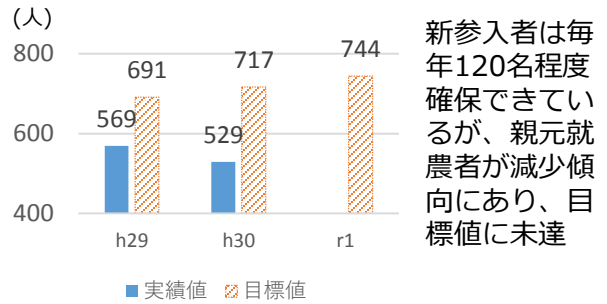
<総合計画施策推進状況>

【総合計画の指標】

食料自給率（カロリーベース）（%）
（施策①②③④）

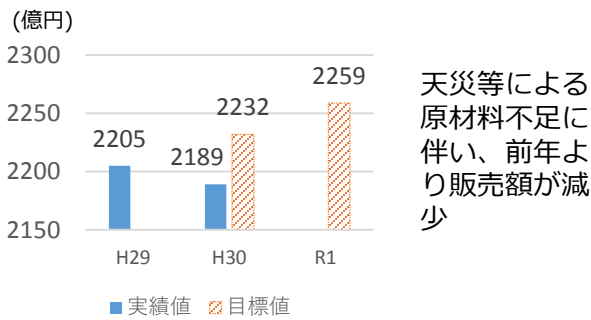


新規就農者数（暦年）（施策③）

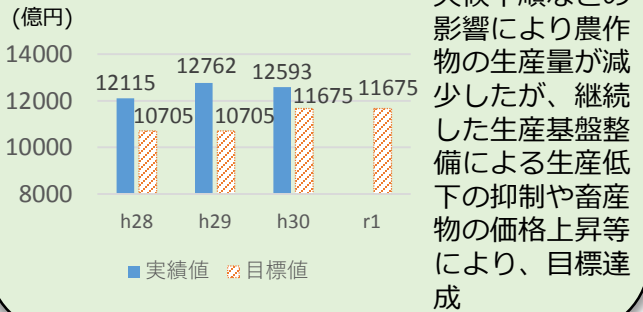


【関連指標】

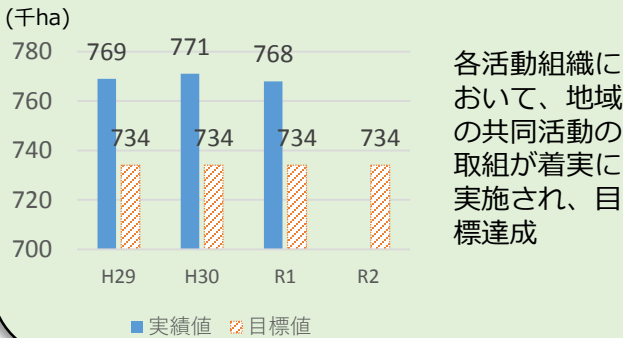
6次産業化の取組（年間販売金額）（施策①）



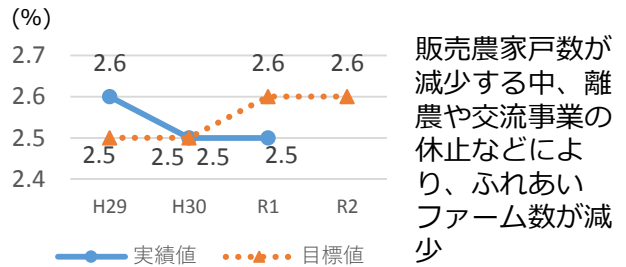
農業産出額（暦年）（施策②③④）



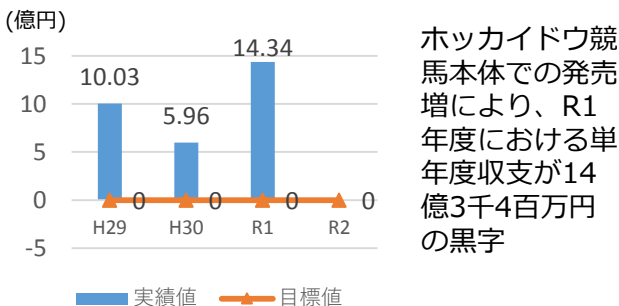
多面的機能支払の取組面積（施策⑤）



ふれあいファームに登録している農家の割合（%）（施策⑤）



競馬事業の収支（施策⑦）



担い手への農地の利用集積率（%）（施策③）

